地域社会との共生

方針・戦略

古河機械金属グループは、積極的に社会に参画し、その発展に貢献することを方針として、企業行動憲章および役職員行動基準に定めています。

古河機械金属グループ企業行動憲章
古河機械金属グループ役職員行動基準

取り組み

社会貢献活動における注力分野

当社グループは、地域社会と共生し、コミュニティの発展に寄与することを目指し、地域社会に密着した活動として、地域清掃ボランティアへの参加や児童・生徒を対象とした社会科見学の受入れなどを行っています。また、地域社会の魅力を促進する活動の一環として、栃木県日光市足尾町において「古河掛水倶楽部」や「古河足尾歴史館」の運営・管理に取り組んでいます。こうした活動を通じて、地域文化の維持・発展に貢献しています。

● 社会貢献活動において注力する活動分野

活動分野	主な活動内容
教育	児童・生徒を対象とした社会科見学の受入れ
文化・芸能	「古河掛水倶楽部」や「古河足尾歴史館」の運営・管理、史跡の活用と維持管理
地域社会との共生	地域清掃ボランティアへの参加
環境保全	植林活動

社会貢献活動事例

(1) 広瀬川清掃ボランティア

当社グループ各社では地域社会への貢献活動の一環として清掃ボランティア活動に参加しています。2023年度は、9月に宮城県仙台市で開催された「広瀬川1万人プロジェクト 第34回広瀬川流域一斉清掃」に当社グループの古河産機システムズ(株)東北支店から従業員およびその家族計9名が参加しました。

広瀬川清掃ボランティア

(2) 足尾銅山の社会科見学を実施

当社は、足尾事業所(栃木県日光市)において、文部科学省よりスーパーサイエンスハイスクール(SSH)※として指定を受けている茨城県内の中等教育学校の生徒30名を受入れ、足尾銅山の社会科見学を実施し、体験型実習講座の一環として、足尾銅山の見学会が行われました。

足尾事業所の協力の下、銅の製錬プロセスや環境対策について説明し、旧製錬所や選鉱場などを特別に公開しました。また、中才浄水場では、坑廃水から重金属を除去するメカニズムを実演しました。

※ スーパーサイエンスハイスクール(SSH):
文部科学省が国際的に活躍する科学技術人材を育成するために優れた取り組みを行っている高校を指定し、支援している事業のことです。

足尾銅山の社会科見学

(3) 能登半島地震の被害に対する義援金の拠出

当社グループは、能登半島地震の被災地の復旧・復興にお役立ていただくため、義援金として、古河機械金属(株)および中核事業会社6社(古河産機システムズ(株)、古河ロックドリル(株)、古河ユニック(株)、古河メタルリソース(株)、古河電子(株)、古河ケミカルズ(株))より、総額800万円を拠出しました。

当社グループ一同、皆さまの安全と被災地の一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

⑷ 古河掛水倶楽部

古河機械金属グループは、地域社会の魅力を促進する活動の一環として、栃木県日光市足尾町において「古河掛水倶楽部」の運営・管理に取り組むことで、地域文化の維持・発展に貢献しています。

古河掛水倶楽部は、足尾銅山の隆盛期に貴賓客の接待や宿泊施設として利用されていた迎賓館です。大正初期に改築され、外観は洋風、内部は和洋、それぞれの様式を用いた2階建ての建造物で、鹿鳴館や古河庭園などを設計したジョサイア・コンドルの影響を受けたといわれています。

館内には国産で最も古いとされるビリヤード台のある撞球場や日本間など、貴賓客をもてなす設備がそろっています。

当倶楽部は2006年に国の登録有形文化財として登録されました。

古河掛水倶楽部　登録有形文化財（建造物）

近代化産業遺産に指定

経済産業省では近代化産業遺産の保存、活動を一層進める観点から、2007年11月に全国から33の近代化産業遺産群を構成する個々の近代化産業遺産を地域活性化に役立つ資産として認定し、その所有者などに対し、認定証およびプレートを授与しました。

認定された遺産のうち、古河機械金属（株）は足尾銅山関連遺産（栃木県）、好間炭鉱関連遺産（福島県）、筑豊炭田北九州関連遺産（福岡県）が認定を受けました。

当社としても認定を受けた近代化産業遺産を大切に保管するとともに、地域の活性化に向けた取り組みを更に進めていきたいと考えています。

国指定史跡 通洞坑

国指定史跡 宇都野火薬庫跡